

学校にバドミントン部のない2人が躍動!!



風の合ったアフレでゲームを組み立てた大鐘(左)・久保田組(下)優勝。カップを手に笑顔の大鐘と久保田。

練習環境の苦勞乗り越え 大鐘・久保田組 頂点

会長杯中学生バドミントンダブルス大会

第39回会長杯中学生バドミントンダブルス大会が1月5、13日、毎日興業アリーナ久喜などで行われた。1年生女子決勝では大鐘優菜(鶴ヶ島)・久保田類(ふじみ野大井)組が21-12、21-15のストレートで、チヤンスに大鐘が前で決める。ムは序盤から相手にリードを許す展開となったが、焦らずつないでいくと、2も意志確認。相手がローテを打っている時にスキがでるバックを突いた。久保田と15-15から一気の6

週3回川越市内の小学生クラブに合流

連続得点で勝負を決めた。ともに学校にバドミントン部がないため、小学生の時から知り合っていた2人が「どちらからでもなく、何となく2人で」と、入学直後にペアを組むことを決めた。結成時から目標を今大会に定めた。練習は週3回、2人のほば中間地点にあたる川越市内の小学生クラブに合流させてもらった。ともに小学生時は真トッ

- 【女子】
▽1年生決勝
大鐘優菜 黒川千佳
久保田類 井田香奈
(鶴ヶ島) (ふじみ野大井) 2(21-12) 0 (21-15) 0 (上里北)
- ▽2年生決勝
黒川璃子 加瀬谷弥来
吾妻佳奈 加藤柳穂香
(春日部武甲) (蓮田南) 2(21-16) 0 (21-14) 0
- 【男子】
▽1年生決勝
千葉大 大熊辰弥
初野峻佑 片山昂大
(蓮田南) (蓮田南) 2(21-11) 0 (21-18) 0
- ▽2年生決勝
大井輝 古株大健
佐藤太一 藤田志木
(新座) (志木二) 2(26-24) 0 (21-19) 0



全6戦ストレートで初V 沼田・伊東ペア

- 【女子】
▽5年生決勝
沼田唯李 白鳥玲菜
伊東陽南 松崎玲奈
(所沢ジュニア) (春日部白翔) 2(21-14) 0 (21-16) 0



会長杯ジュニアバドミントンダブルス大会

第34回会長杯ジュニアバドミントンダブルス大会が1月25、26日、毎日興業アリーナ久喜で行われた。5年生女子決勝では沼田唯李・伊東陽南組(所沢ジュニア)が21-14、21-16で白鳥玲菜・松崎玲奈組(春日部白翔)を下し、初優勝を飾った。準決勝で全国Vペアを破るなど、予選リーグからの全6試合をストレート勝ちした。

強気の攻めで先取
たったひとりで互いを分かり合えるコンビだからこそ、窮地を乗り越えられた。決勝の第1ゲームを「スマッシュを打ちまくって」(伊東)と強気の攻めで先取したが、第2ゲーム序盤は「守り」に入って、ドロップばかりで相手に打ち込まれた(沼田)とリードを許した。
2-4の場面で沼田が伊東に対して「イライラしないで」と言。「ミスするとすぐにイライラしてしまう」という伊東に、冷静さを促した。「(伊東は)フットワークが良くすべて打ち返してくれる」(沼田)という本来のプレーを取り戻させることで、一気に5連続得点で逆転。その後は一度もリードを許さず、21-16で



シングルスで関東大会出場も
押し切った。
長所と短所を理解
ともにシングルスでは関東大会にも出場する2人だが、ペアを組んではまだ1年足らず。「最初は動きが分からずバタバタして負けてばかりだった」と伊東。クラブの全体練習以外でも2人で努力を重ねて技術はもちろん、互いの長所と短所を分かり合えるまでに成長した。
準決勝では昨年12月の全国大会で優勝した山北莉緒・長谷川葉月組(鶴ヶ島Angels)をストレートで撃破。「雑誌のインタビューやビデオを見た」(伊東)と、研究の成果で金星を挙げた。「今年は私たちが日本一になる」と、2人で力強く約束した。

◀ 日本一を目標に掲げる沼田と伊東